

2016年 9月 11日<sup>th</sup>《誕生祝福式・敬老祝福礼拝》

## 主 日 礼 拝

司 会	①8時半～	②10時半～	③夜7時～
奏 楽	①石井師	②石井 秀人兄	③石井師
祈 禱	①石井師	②白川 達男兄	③石井師
賛 美	讃美歌312番 & 「なんとすばらしい」		
ヤベツの祈り			
聖 書	①コリント人への第一の手紙12章19～27節		
	②ヨハネの第三の手紙1～4節		
特別映像	ニック・ブイチチ（先天性四肢切断症）		
メッセージ	①「まぜこぜ教会」大川従道牧師		
	②「神様からのラブレター」石井 潤牧師		
献 金	聖歌229番	[献金当番：青木貴子姉・渡辺久美子姉]	
祝 禱			
お知らせ			
賛 美	「いつも喜び」		

### 【司会者】

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！  
《今週のお知らせ》

- 敬老祝賀会にようこそおいで下さいました。ゲストの皆様大歓迎致します！  
本日午後はスマイルこどもクリニック森脇弘隆先生がご講演下さいます！
- 今週の祈り会は、①木曜朝10時半～、②夜7時半～、メッセージは、  
倉知契先生（大和祈祷会映像）。③土曜夜8時、準備祈祷会（石井牧師）。
- 木曜午後2時半～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集会が行われます。  
☆★教会のホームページが新しくなりました！[uedacalvarychapel.org] ★★

9/25(日)：ヤングチャペル・聖書の学び会 29(木)：WOGA 集会

《予告》10/10(月・祝)午後2時：「チエロコンサート」（ボーマン氏夫妻）

### 一年に一回聖書を完読できる！Bible Reading Plan [9/11～18]

date	本日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	箴言 19・20章	21・ 22章	23・ 24章	25・ 27章	28・ 29章	30・ 31章	伝道の書 1-3章	4- 6章
新約	2コリント 3章	4章	5章	6章	7章	8章	9章	10章
チェック	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新

## 「神様からのラブレター」

～本当に神は人類を愛しているのか？～

「神はそのひとり子をくださったほどに、この世を愛してくださいました。それは御子を信じる者がひとりも滅びることなく永遠の命を得るためである。」

ヨハネによる福音書3章16節

隣国北朝鮮の核実験とミサイル実験に大いなる怒りを覚えている方々が多くおられる方だと思います。世界的に起こっているテロ事件に続き、隣国の北朝鮮でも不穏な動きが活発化しています。キム・ジョンウン、彼は一体何を考えているのか？ただ、ゲームを楽しんでいるかのように一連の動きを続けているのか？独裁政権であるがゆえにあり得る行動。だからこそ恐ろしい…。その他、日本でも、世界各地でも様々な天災、人災が起こっている。

キリスト教が教えるもっとも大切なメッセージは、「神は私たち人類を愛している」という内容です。戦争や災害のことを考えると、私たちは神様からの愛のメッセージを受け取れにくくなってしまいます。しかし、それでも聖書は依然として「神は人間を愛している」と語り続けています。では、どのようにしてその愛のメッセージを受け止めれば良いのでしょうか？

新約聖書の福音書を読むと、イエス・キリストは多くのたとえ話を使って群衆に語りかけられました。「たとえ話」それは、「なぞなぞ」のようなもので、人々に直接言いたいことを語るのではなく、比喩的に語られます。そして、敢えて考えさせようとします。しかし、それを面倒になって、無視してしまえば、それ以上話は進みません。しかし、それ以上に興味を持ち、好奇心を持って、積極的に、自発的に、物事の真理を求め始めると、見えてくるものなのです。

神様は愛のプレゼントを私たちに与えてくださいました。しかし、その受け取ったプレゼントをしっかりと受け止め、その包み紙を取って、箱を開けて、そのプレゼントを自分のものとして、使い始めることで、そのプレゼントの目的が達成されます。

本日は人生の大先輩方をお招きできることを本当に嬉しく思います。皆様がますますお元気で、ご活躍されますように心よりお祈り致します。神様は私たちに永遠への思いを与えられました。最近、死生学についての雑誌を読みました。そこには、日本人のほとんどの方が、死んだら無になると考えて平安でいるという内容が書かれていました。あの有名な作家の五木寛之さんもそのようにお考えになっておられるとのことでした。しかし、それは半分あきらめのようにしか聞こえませんでした。私たちの人生は短くはないと先達たちは語りましたが、それが正直な人間の心です。しかし、そのはかない人生だけしか見ることができない人間の限界性をしっかりと見つめ、そこから永遠の希望を見出し、道を開いてくださった、イエス・キリスト様を神様からの愛のメッセージとしてお受け止めなさることをお勧めいたします。